八ヶ岳・広河原沢

右俣「クリスマスルンゼ」・左俣「見晴らしルンゼ」

2023年1月7, 8日

参加者：前原、阿部（大間々山岳会）、堀越（群馬登高会、入江（境町山の会、桐林

クリスマスルンゼ 1段目

クリスマスルンゼ 2段目

元会員の草田氏がクリスマスルンゼの話をふと出した時があり、気になっていた広河原沢。クリスマスに訪れた方がいいと思いつつも、適期が1月中旬までのため偵察がてら決行。今回は前所属山の会の先輩を誘ったら、大御所も参加となり賑やかなアイスとなった。

1日目舟山十字路7時集合。8時前に出発。9時過ぎ広河原沢二股出会に到着。手前にもあったが、テント跡が多数あった。エスパース6人用を張り、右俣へ出発。ここで前原氏はハーネスを忘れてしまったことに気づいた。スクリュー以下、ガチャも用意していたのに…。一、二、三ルンゼとの分岐まで1時間弱。滝がない…。右に武藤返しの分岐を越し、自信がない人はロープを結ぶ5m滝を越すと、クリスマスルンゼがあった。入江氏が初ノミック振りをしたくてたまらない顔をしていたので、1段目をリードしてもらった。フォローで阿部氏と桐林が上がった。2段目もリードしそうになった入江氏をいなし、桐林リード。右の短いヴァーチカルに乾杯。アックステンション連発。あまり気にしていなかったが、取り巻きがあぁだこうだ（降りろ・フィフィなんて使わねぇぞ）と叫んでいたようだ。聞こえて（聞いて）いなかっ

見晴ルンゼ最奥の緩傾斜 2本

見晴ルンゼ 10m

た。なんとか完登。その後入江氏を迎え、2段目下まで懸垂。その後、前原氏と堀越氏を見送り、再スタート。桐林リードで1段目。2段目入江氏リード。気持ちがわかったのか納得のアックステンション。その後フォローで阿部氏も登り、下降。暗くなりこりゃあ怒られるなぁと思いながらもヘッデンで前を照らしながら、下山。

2日目。遅い就寝に体が重い。6時前起床。堀越氏の一声で、前の晩見晴らしルンゼに決定。14時にテント場集合の強い約束で出発。前原氏は中央稜を偵察。左俣に入り、30分。軽い滝を高巻き、アイゼンを装着。これが見晴らしルンゼの分岐？と迷い、さらに前へ進んだ。他パーティが取り付いている5mの滝を高巻き、7mほどの滝が現れ、間違いに気づき後退。元の分岐に戻り、登高を続けるがなかなか滝がない。後を振り返れば、景色が良い。概念図上そこまで滝がないから、引き返すムードが漂っていた。しかし、稜線が近づいてきて人が滝に取り付いているのが見えた。そうかと思えば、氷結した滝が3本。最後に最奥手前の70度程度の10mを登った。昨日のこともあったので入江氏にリードを譲ったが、落口を抜けてからなかなかコールがかからない。寒さに怒号が上がり、ようやく阿部氏がフォロー。次に残置スクリューにかけながら桐林リード。上がってみると確かに支点はない。手前に手前にと、雪から掘り出した岩でビレイ。その後、阿部氏のいかにも古そうなテープスリングを残置して懸垂。衝撃を加えて動かないことを確認していたが、やはりビクビク。14時前に集合し、15時までには駐車場へ。

残置が躊躇なくできるように備えが必要だと実感。ありがとうございました。